

第4回中山間地域振興協議会の概要について

〔広島県地域政策局〕
中山間地域振興課

1 日 時

平成26年10月28日（火） 13:30～15:00

2 場 所

メルパルク広島6階 「安芸」（広島市中区基町6-36）

3 議 題

中山間地域振興計画（案）について

4 知事あいさつ

国において、「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、魅力あふれる地方を創生し、地方への人の流れをつくることが基本目標として掲げられた。

若い世代の中山間地域への定住を促進するためには、地域ならではの資源や特性を再認識し、強みとして積極的に活かすことによって、地域の価値向上につなげていくことが重要であると考えている。

本日は、これまでの御意見や検討を踏まえて作成した中山間地域振興計画（案）について、皆様の御意見を伺い、最終的な計画策定につなげて参りたい。

5 主な意見等

（1）計画（案）全体についての意見

- ・ 特に若者定住を進めていこうという姿勢が強く出ており、メリハリのある計画（案）となっている。
- ・ 今回の計画はよくまとまっているが、ソフト事業の方が希薄のような感じがある。今後もハードとソフト両面からの支援をお願いしたい。

（2）施策の方向性についての意見

ア 多様な力でつながる人づくり

- ・ 地域の高等学校の教育内容の充実など、魅力ある学校づくりへの支援をお願いしたい。
- ・ 学校の規模適正化を図る一方で、学校は地域コミュニティや地域振興の中核をなしていることにも着目する必要がある。

イ 夢をカタチにできる仕事づくり

- ・ 農業法人による規模の拡大を進めているが、現在の情勢では維持していくことが困難であることから、所得を上げていくためにも転作等の新たな展開を協議していきたい。
- ・ 若い世代を呼び込むため、農業を中心とした働く場所の確保や地域産品のブランド化を進めているが、今後も県の支援が必要である。
- ・ 地域の特性を踏まえた、儲かる農業の成功事例はどこでも取り組めるものではないことに留意する必要がある。

- ・ 木余りの現状を踏まえ、伐採後の再生林コストを考慮し、すべて再生林ありきではない持続的な林業経営の手法を検討していただきたい。
- ・ CLT（直交集成材）による高層建築物が可能となるよう、建築基準法の見直しに向けて国へ働きかけるなど、林業の活気が出るような環境づくりを進めていただきたい。
- ・ 廃校活用などによる起業家を呼び込んだ新しいビジネスモデルの創出を考えているが、小さな自治体では効果が現れにくい情報発信などについては、県レベルでの仕組みづくりなどをお願いしたい。
- ・ 体験型観光などは重要であり、政府も外国からの観光客誘致に力を入れている中、総観光客数の最近のトレンドなどを踏まえた目標数値とすることが適当ではないか。

ウ 安心を支える生活環境づくり

- ・ 医師の待遇などの課題により、慢性的な医師不足となっていることから、医師が定着するためのシステム構築をお願いしたい。
- ・ 県や大学の支援を受けているものの、24時間365日の救急対応で町立病院の医師は疲弊している。臨時の当直医師では、支援を受けるための費用負担が大きく、指標の「現状維持」では、町の地域医療体制は現状維持できない。
- ・ 全域中山間市町のすべてで地域包括ケアを実施する目標を掲げているが、町内に基幹病院がないことから、体制の確立ができるかどうか危惧している。
- ・ 生活交通体系の構築は、最も重要な地域課題の一つであり、高齢者向けの車両確保など、地域の実情、市町単独での取組実態を踏まえながら施策に取り組んでいただきたい。
- ・ デマンド交通導入市町数を目標としているが、導入するとなると、路線再編により廃止路線が生じる場合もあることを考慮した上で取り組む必要がある。
- ・ 「安心を支える生活環境づくり」の中には、生活交通など我々が苦勞している部分があるので、これらが重要な取組であることが分かるような位置付けをしていただきたい。

6 意見交換後の知事コメント

現在実施中のパブリックコメントで寄せられた意見も含めて、最終的に計画として取りまとめたい。

計画策定後においても、市町と県、あるいは、市町間の連携により、目指すべき姿の実現に向けて取り組んでいきたい。